

交渉（全労働省労働組合和歌山支部）議事概要

和歌山労働局長（当局）は、平成 25 年 2 月 15 日（金）、和歌山労働局において全労働省労働組合和歌山支部執行委員長（全労働和歌山支部）と主に以下のことについて交渉を行った。

1 賃金・諸手当について

（全労働和歌山支部）

憲法違反の給与改定・臨時特例法に基づく給与減額措置を直ちに廃止すること、賃金水準の改善を図ること、公務員の職務と専門性を基準にした公平な処遇が可能となる給与制度を確立すること、一時金の支給月数を引き上げること、労働行政の諸分野に俸給の調整額を適用する等諸手当について改善すること等賃金・諸手当の改善を図ること。

2 退職給付等の見直しについて

（全労働和歌山支部）

国家公務員等退職手当法の見直しを行い、公務の特殊性に見合った制度・水準に改善すること。

（当局）

1 及び 2 とも要求内容については上申して参りたい。

3 労働行政体制の拡充について

（全労働和歌山支部）

行政運営に必要な定員を十全に確保すること、「国家公務員総人件費 2 割削減」方針を改めること、「定員合理化計画」を凍結・撤回すること、「新規採用抑制方針」を中止すること等労働行政体制の拡充を図ること。

（当局）

業務量の増加、事案が複雑困難化しているなかで、それにふさわしい業務処理体制は必要と考えている。

要求内容については上申して参りたい。

4 人事評価制度について

（全労働和歌山支部）

評価の斉一性や公平性に疑問が多い等未成熟で不十分な制度であることから、抜本の見直しを含め、問題点を十全に解決すること。

（当局）

引き続き公正な評価に努めて参りたい。

5 公務員宿舎について

(全労働和歌山支部)

希望する職員全員が入居できるよう宿舎の確保を行うこと、生活を直撃する宿舎・駐車場使用料の大幅値上げを行わないこと。

(当局)

当局のように広域異動をせざるを得ない地域の宿舎事情からすると大変厳しい状況にあるが、できるだけ希望する宿舎に入居出来るよう関係機関等に働きかけを行って参りたい。

宿舎料等に関しては、上申して参りたい。

6 労働時間・休暇制度の改善について

(全労働和歌山支部)

職員の休憩時間を確実に付与すること、勤務時間管理の適正化を図るとともに賃金不払残業などの違法行為の根絶を図る等労働時間・休暇制度の改善を図ること。

(当局)

休憩時間の確実な取得については、当局の各管理者に対し指導を行っているところであり、今後とも適切に対応して参りたい。

年休の取得については今後ともより取得しやすい環境を作って参りたい。

7 高齢期雇用・定年延長について

(全労働和歌山支部)

雇用と年金の接続を図る観点から、定年年齢を65歳とするとともに、希望者全員の雇用の確保など公正な任用を行うこと。

(当局)

要求内容については上申して参りたい。

雇用の確保についても努めて参りたい。

8 家族的責任を有する者の労働条件改善・男女平等・母性保護の拡充について

(全労働和歌山支部)

育児休業・介護休暇制度の周知・徹底を図る等男女ともにいきいきと働くための労働条件の改善を図ること。

(当局)

今後とも制度が活用されるよう周知・徹底を図って参りたい。

9 相談員等非常勤職員の労働条件改善について

(全労働和歌山支部)

通勤手当の完全支給、無給となっている休暇を有給とする等処遇の抜本的な改善を図ること。

(当局)

要求内容については上申して参りたい。

10 職員の健康・安全の確保について

(全労働和歌山支部)

安心して職務に専念できる職場環境を整備するとともに、定期健康診断及び特殊健康診断項目を充実させる等職員の健康・安全の確保を図ること。

(当局)

職員の健康管理については、健康診断の実施、事後措置の徹底を重点に取り組んでおり、今後とも職員の健康・安全の確保について努めて参りたい。

11 労働条件・職場環境等の改善について

(全労働和歌山支部)

職員の健康・安全確保と行政機関を利用する住民の利便性を重視し、庁舎等の改善・整備を行うこと、電力不足対策について、職員・非常勤職員及び行政利用者の健康の確保を優先し、過度な節電対策を行わないこと等労働条件、職場環境等の改善を図ること。

(当局)

職場環境の改善については、計画的に改善に努めているところであり、今後とも職場環境等の改善について努めて参りたい。

12 共済制度について

(全労働和歌山支部)

一方的な共済附加給付を切り下げる等の共済制度の改悪は行わないこと。

(当局)

要求内容については上申して参りたい。